



# あすなる通信

4月  
2024年  
4月号  
April



本年度もよろしくお祈いします。  
新しいスタートを切った子どもたちを応援してください。



## 今月の行事

- 1日(月) あすなる教室の相談開始
- 8日(月) 小中始業式、小学校入学式
- 8日(月) あすなる教室開室
- 9日(火) 中学校入学式

※12日(金)までは登校チャレンジ週間



## あすなる教室スタッフ

【室長兼指導員】藤田 裕彦

【指導員】秦 亜由美・井上 忍・森賀 千尋

よろしくお祈いします!



### 【お知らせ】

施設の名称が、「新居浜市適応指導教室『あすなる教室』」から、「[新居浜市教育支援センター『あすなる教室』](#)」に変更になりました。

### 【室長コラム】

開花の時期を新年度のスタートに合わせてくれた桜の花もあっという間に散り、鮮やかな新緑の季節になろうとしています。令和6年度、みなさんのスタートはどうでしたか？

今年度も、あすなる教室の大目標は「しあわせを見つける」です。それぞれの幸せを、それぞれのペースで見つけることができるように、全力で支援をしていきたいと思ひます。そのために、「信じて待つ」という姿勢を今年度も貫きたいと思ひます。

歌手であり、小説家でもあるさだまさしさんのエッセイ集「さだの辞書」の中に、こんな話がありました。彼の小学1年生の時のお誕生日の話です。

祖母から「一番好きなものをあげる」と言われてもらったのは塩むすび、家計が苦しい中で、祖母が心をこめて握ってくれた塩むすびであることはわかっているながらも、もっといいものを期待していたさだは、ふてくされて手もつけなかった。そんなさだに対して祖母は、「よか、よか。気を遣わんでいいから。おにぎりは、みーんなおばあちゃんが食べるからね」と優しい笑顔で言った。さだは号泣しながらおにぎりを頼張った。「祖母がその手で結んだものは『愛』そのものであったと思う。孫の無礼さ、人としての思いやりのなさに対して、怒りをぶつけるではなく、厳しく戒めるでもなく、ただただ愛で抱きしめてくれるという叱り方が存在することを教えてくれたのも祖母であった」と語っている。

「信じて待つ」というのもそういうことかな、と思ひました。目の前の大切な人が苦しい時、つらい時、迷っている時、悩んでいる時に、正否ではなく、その心をまるごと受け止め、自らの愛情を注ぎ込むことが「信じる」ということ。そして、相手の心を力づくで変えようとするのではなく、優しく寄り添って、心と体が動き出すまで待って、それから共に歩みを進めることが「待つ」ということ。「信じて待つ」というのは決して静ではなくて、動なんだということも感じました。

あすなる教室の子どもたちは、その心、そして内に秘めている力を信じる事ができる子どもたちです。今年度もその子どもたちとともに、来年3月のゴールを目指して、「しあわせを見つける」旅路を歩んでいきます。



「あすなる教室」 TEL 0897-37-7474

FAX 0897-32-6822



e-mail asunaro@city.niihama.lg.jp



大目標  
しあわせを見つける